

和歌山県キャリア形成卒前支援プランの策定について

和歌山県福祉保健部健康局医務課

キャリア形成プログラム運用指針の改定内容（令和3年12月1日付）①

「キャリア形成プログラム運用指針」の一部改正について

医師偏在対策の更なる推進のため、令和3年12月1日付で「キャリア形成プログラム運用指針」の一部を改正し、具体的には以下の項目を追加した。

1. キャリアコーディネーターの配置

都道府県は、医師偏在対策と地域枠医師等のキャリア形成の両立を円滑に推進するため、派遣先について対象医師と大学等の専門医の研修プログラム責任者等との調整を行うとともに、対象学生の支援を行う人材（キャリアコーディネーター）を配置する



2. 修学資金貸与対象者の明確化（確保基金）

地域医療に従事する医師を増加させるため、別枠で選抜された地域枠の学生だけではなく、それ以外の学生においても、本人の希望により卒業後にキャリア形成プログラムを適用する場合は、都道府県が行う修学資金の貸与に対し、地域医療介護総合確保基金の活用を可能とする



3. キャリア形成プログラムの充実

キャリア形成プログラムの更なる充実に向けて、都道府県は、地域枠医師等の意見を参考に、研修環境の整備や勤務負担の軽減に努めるものとし、就業開始後も、満足度等を含む意見聴取を定期的に実施する



4. キャリア形成卒前支援プランの策定

地域医療に従事することを希望する者が、学生・臨床研修の期間を通じてその意思を継続することができるよう、都道府県は、「キャリア形成卒前支援プラン」を策定し、学生の地域医療マインド涵養のために、地域医療に関する実習や講義の支援等を行う



※キャリア形成卒前支援プランの適用は令和5年度以降

キャリア形成プログラム運用指針の改定内容（令和3年12月1日付）②

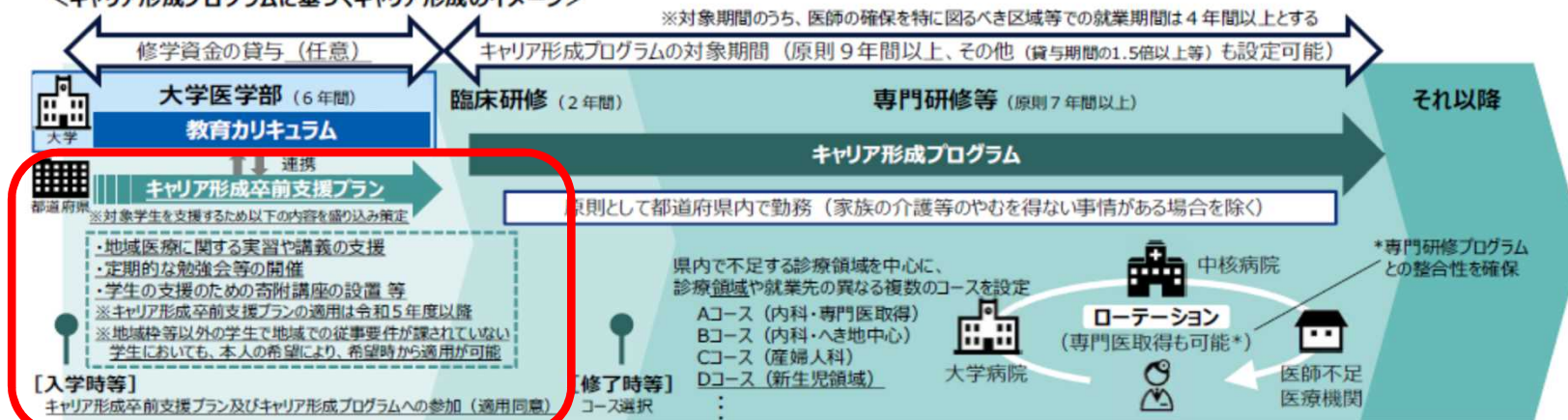
キャリア形成プログラムについて（改正の内容）

※改正箇所は下線

都道府県は、地域医療対策協議会において協議が調った事項に基づき、「医師不足地域における医師の確保」と「医師不足地域に派遣される医師の能力開発・向上の機会の確保」の両立を目的とするキャリア形成プログラムを策定することとされている

※医療法及び医師法の一部を改正する法律（平成30年法律第79号）により地域医療支援事務として医療法に明記。キャリア形成プログラムの詳細については、医療法施行規則（省令）及びキャリア形成プログラム運用指針（通知）に規定

＜キャリア形成プログラムに基づくキャリア形成のイメージ＞



＜キャリア形成プログラムの対象者＞

- ・ 地域枠を卒業した医師
- ・ 地域での従事要件がある地元出身者枠を卒業した医師
- ・ 自治医科大学卒業医師（平成30年度入学者までは任意適用）
- ・ その他プログラムの適用を希望する医師

※キャリア形成プログラムの適用に同意した学生に対しては、修学資金の貸与に地域医療介護総合確保基金の活用が可能

＜キャリア形成プログラムに基づく医師派遣＞

大学等による医師派遣との整合性を確保するため、地域医療対策協議会で派遣計画案を協議

※地域医療構想における機能分化・連携の方針との整合性を確保する

※理由なく公立・公的医療機関に偏らないようにする

※都道府県は、医師偏在対策と対象医師のキャリア形成の両立を円滑に推進するため、各地域の医師偏在の状況や対象医師の希望を勘案しつつ、就業先について、大学等の専門医の研修プログラム責任者等との調整を行うとともに、対象学生の支援を行う人材（キャリアコーディネーター）を配置する

※都道府県は、対象医師から満足度等も含む意見聴取を定期的に行い、勤務環境改善・負担軽減を図る

対象者の地域定着促進のための方策

＜対象者の納得感の向上と主体的なキャリア形成の支援＞

- ・ 都道府県は、対象者の希望に対応したプログラムとなるよう努め、診療科や就業先の異なる複数のコースを設定する
- ・ 都道府県は、コースの設定・見直しに当たって、対象者からの意見を聴き、その内容を公表し反映するよう努める
- ・ 出産、育児等のライフイベントや、大学院進学・海外留学等の希望に配慮するため、プログラムの一時中断を可能とする（中断可能事由は都道府県が設定）

＜プログラム満了前の離脱の防止＞

- ・ キャリア形成プログラムは都道府県と対象者との契約関係であり、対象者は満了するよう真摯に努力しなければならないことを通知で明示
- ・ 一時中断中は、中断事由が継続していることを定期的な面談等により確認（中断事由が虚偽の場合は、契約違反となる）
- ・ 都道府県は、キャリア形成プログラムを満了することを、修学資金の返還免除要件とする（家族の介護等のやむを得ない事情がある場合を除く）

和歌山県キャリア形成卒前支援プランの概要

1. 概要

- キャリア形成卒前支援プランとは、各大学で実施している医学部の教育カリキュラムを基盤としつつ、地域医療へ貢献する意思を有する学生に対し、地域医療や将来の職業選択に対する意識の涵養を図り、対象学生が学生の期間を通じて、地域医療に貢献するキャリアを描けるように支援をすることを目的として、都道府県が大学の協力も得つつ策定する計画のことです。

2. 対象者

- 和歌山県立医科大学地域医療枠及び県民医療枠で入学した学生
- 近畿大学医学部和歌山県地域枠で入学した学生
- 和歌山県出身の自治医科大学の学生
- その他キャリア形成プログラムの適用について同意した学生

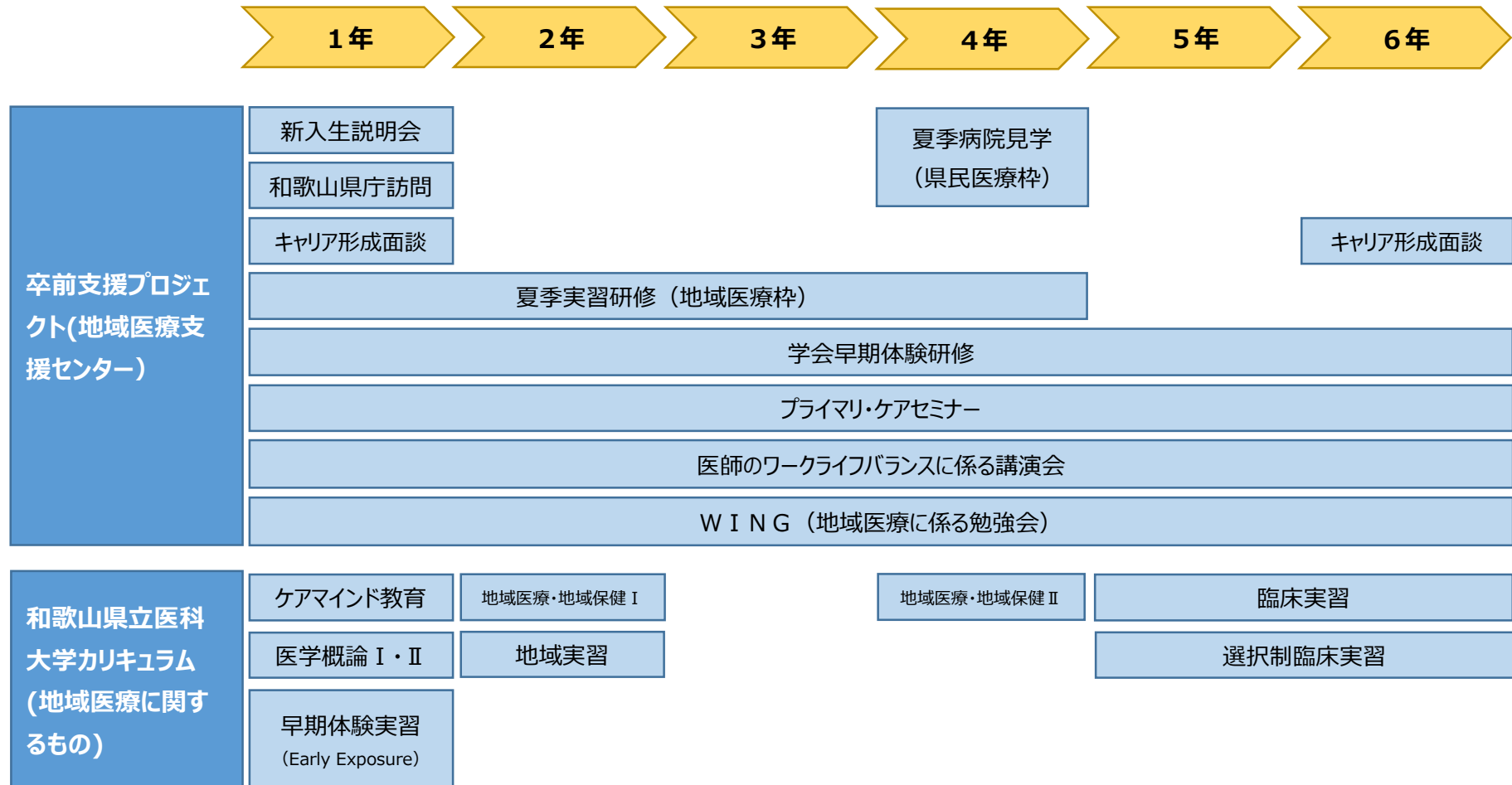
3. 卒前支援プロジェクト

- 都道府県は、大学や医療機関等と連携し、キャリア形成卒前支援プランでは、学生の地域医療等に対する意識の涵養を図るためのプロジェクトである「卒前支援プロジェクト」を策定します。

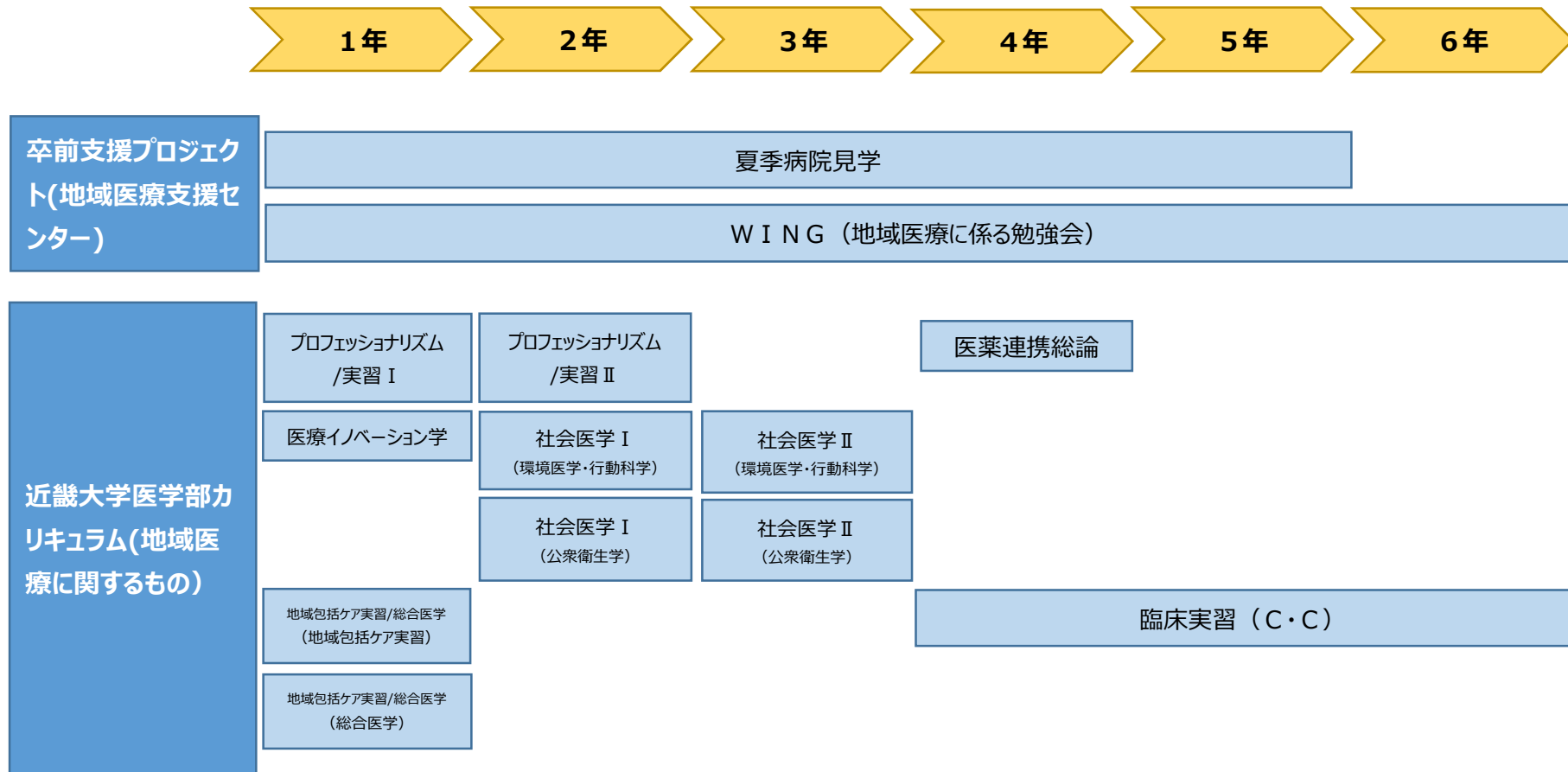
4. 対象期間

- 入学時又は当該プランへの適用の同意を得た時から卒業時までです。

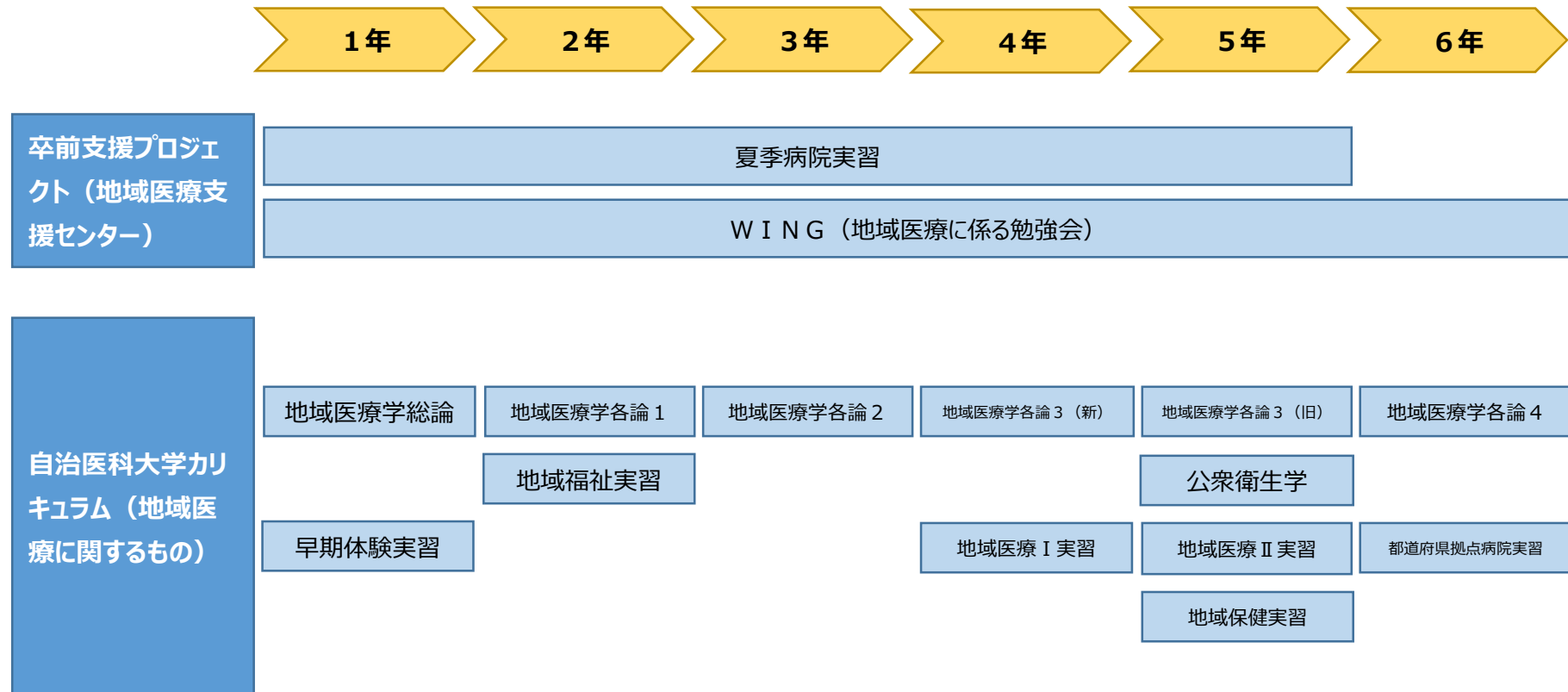
和歌山県立医科大学（県民医療卒・地域医療卒）の卒前支援プラン



近畿大学医学部（和歌山県地域枠）の卒前支援プラン



自治医科大学（和歌山県出身卒）の卒前支援プラン



卒前支援プロジェクト①

■新入生説明会

- 1 対象 和歌山県立医科大学 地域医療枠及び県民医療枠 1年生
- 2 時期 4月頃
- 3 内容 地域医療枠及び県民医療枠に求められる役割の周知



■和歌山県庁訪問

- 1 対象 和歌山県立医科大学 県民医療枠及び地域医療枠 1年生
- 2 時期 10月～11月頃
- 3 内容 和歌山県知事（もしくは副知事）と地域医療について懇談することにより、本県地域医療についての意識を醸成する



■キャリア形成面談

- 1 対象 和歌山県立医科大学 県民医療枠及び地域医療枠 1年生及び6年生
- 2 時期 6月～7月頃
- 3 内容 1年生に対しては地域医療枠及び県民医療枠の制度説明や、卒前・卒後のキャリア形成に関するヒアリング、6年生に対しては卒業後の進路に関するヒアリングを実施

卒前支援プロジェクト②

■ 学会早期体験研修

- 1 対象 和歌山県立医科大学 県民医療枠及び地域医療枠 1～6年生
- 2 時期 9月頃
- 3 内容 学会の体験（令和3年度は日本血液学会学術集会にオンライン参加）



■ 夏季実習研修

- 1 対象 和歌山県立医科大学 地域医療枠 1～5年生
- 2 時期 7月～8月頃
- 3 内容 県内へき地医療拠点病院、保健所等で実習・見学を行い、地域医療に従事する医師の役割・責任について認識を深める



■ 夏季病院見学

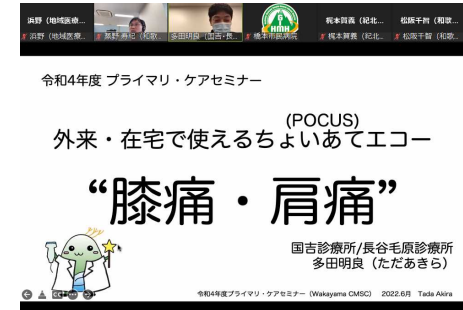
- 1 対象 和歌山県立医科大学 県民医療枠 4年生
- 2 時期 夏季休暇中
- 3 内容 県内公的医療機関の見学を行い、地域医療に従事する医師の役割・責任について認識を深める



卒前支援プロジェクト③

■プライマリ・ケアセミナー

- 1 対象 和歌山県立医科大学 1～6年生
- 2 時期 9月頃、3月頃
- 3 内容 統合的な診察能力を有する医師に必要な地域や技能を学び、総合診療についての理解を深めるための講演会に参加



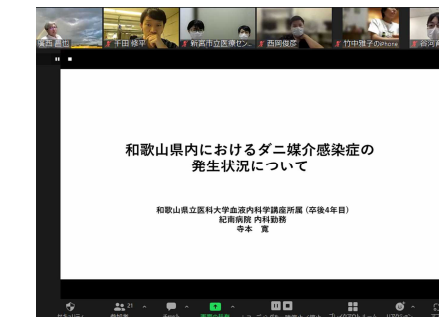
■医師のワークライフバランスに係る講演会

- 1 対象 和歌山県立医科大学 地域医療枠及び県民医療枠 1～6年生
- 2 時期 3月頃
- 3 内容 ワークライフバランスに係る講演会（令和3年度は女性医師の出産・育児とキャリア形成についての講演会）



■WING（地域医療に係る勉強会）

- 1 対象 和歌山県立医科大学 地域医療枠及び県民医療枠、近畿大学和歌山県地域枠、自治医科大学和歌山県出身枠 1～6年生
- 2 時期 毎月1回
- 3 内容 オンラインでの地域医療に係る勉強会、学生・卒業生の交流



卒前支援プロジェクト④

■ 夏季病院見学

- 1 対象 近畿大学医学部和歌山県地域枠 1～5年生
- 2 時期 夏季休暇中
- 3 内容 和歌山県立医科大学の病院見学を行い、地域医療に従事する医師の役割・責任について認識を深める



■ 夏季病院実習

- 1 対象 自治医科大学和歌山県出身枠 1～5年生
- 2 時期 夏季休暇中
- 3 内容 へき地診療所等での実習を行い、地域医療に従事する医師の役割・責任について認識を深める

